

女子大生のプロポーションに対するイメージ 第1報

連想語からみたプロポーションに対するイメージ

就藤短 実由大 短紀 大子茂 〇呂 杉関裕 本東子 智学 枝院田 子女中 短美 山大智 陽 学杉安 園田盛 短洋都 大子子 江東山 口京田 玲家寛 子政 大共 文家立 教政女 大知家 短野政 大恵 (子小 非) 林 川茂 佐村雄

<目的>現代衣生活の多様化の中で、女子大生の関心事の第一に挙げられるのは、「ファッション」といっても過言ではない。ファッションを表現する多くのファクターの中の重要な一つのものとして「プロポーション」があげられる。そこで、我々は現代の女子大生がプロポーションに対してどのようなイメージを持っているのか、様々な角度から一連の心理学的研究に着手した。第1報においては、自由連想課題をもとにして「プロポーション」という言葉の持つ意味的広がりを検討することにした。

<方法>調査対象者は関東地区4大学500名、中国地区2大学200名の家政科1年次生、合計700名である。1989年9月～10月に集合調査法によって実施した。調査内容は、プロポーションから思いつく言葉を15分間、自由連想させた。

<結果>集計結果から、身体に関する言葉とその他に分類した。本報では、身体に関するもの約3500語について、部位別に考察を行った。連想語の中で一番多いものは、下肢に関するもので、全体の1/4を占めた。スリーサイズについては、ウエストに関心が強く、バスト、ヒップはやや弱い。身長と体重では、体重より身長に関する言葉が約2倍あり、スリーサイズの結果とほぼ同様である。また、各部位毎のディティールによると女子大生のプロポーションに対する連想は、身長が高く、小さい顔で胸にはふくらみがあり、ヒップアップした腰、細く長い腕・脚などスリムな身体をイメージしている。